

山本 后世さん

山本さんは今年、野外活動時に必要な緊急対応の仕方についてガイドの皆さんに講師を務めました。実践的でわかりやすい内容が参加者に好評でした。

普段は医療センターに勤務のかたわら休日などに野山に出かけることが多く、とくに前掛山からの景観が好きだという。芳ヶ平にもよく足を運んでいた縁でジオパークガイドにもなり、山や自然との親交を広めるなどワークライフバランスを高くキープしています。すでにこの間、浅間牧場や吾妻渓谷でのガイドにデビューしたというのでジオパーク活動についての印象について何うと「あらゆる方面に突き抜けている人が多くて感心しました」と応えました。

山本さんは、もうひとつ、日本DMAT隊員(災害派遣医療チーム隊員)の顔をお持ちです。これは災害発生直後から活動できる機動性を備えた医療チームのことで、山本さんは隊員として、医療技能はもちろん、日頃のフィールド歩きが体力づくりに役立ち、ジオパーク活動は災害対応にも結び付くみたいで楽しそうです。その原点を聞くと、マンガの「岳」で主人公のサンポさんの生き方に触発されて…と照れ笑い。そして、「ジオを通じて、これからもたくさんある地元の魅力をしっかり伝えていきたい」と先を語って下さいました。



▲左が山本后世さん。ご主人と結婚して一年余り

「浅間山熔岩樹型」が伝えること
日本ジオパークネットワーク理事

桂 雄三氏

理学博士

「浅間山熔岩樹型」は、昭和15年天然記念物に指定され、昭和27年に特別天然記念物に指定されます。特別天然記念物というのは、金閣寺のような国宝と同じ位置づけです。史跡と名勝と天然記念物は、まとめて記念物という種類の文化財で、大正8年から指定が始まり、昭和24年に現在の文化財保護法に受け継がれます。記念物は、古墳や城跡などの史跡、お庭や景勝地などの名勝、そして動植物や地質鉱物などを含む天然記念物という文化的なものや自然的なものが一括りにされています。

昭和35年に刊行された『文化財保護の歩み』には、「人あるいは難ずるかも知れない、史跡名勝天然記念物は異分子の集合である。これに対して、国土の自然の特性をつかみ、その自然を背景とし、その風土のうちに営んだ民族の歴史的発展の遺跡をたどること、すなわち、わが国土の自然と人文との総合的把握こそ、史跡名勝天然記念物保存の最後の目的であると答えた。」との記述があります。

欧米のように自然と文化を対立させる思想は、日本には馴染まなかったようです。自然は身近なもので、日々の暮らしと連続した存在であり、数多くの恵みをもたらしてくれると同時に、過酷な試練をももたらす存在でもあります。祖先は、こうした中でも暮らし続ける知恵や知識を蓄積してきました。

『浅間山熔岩樹型』は、天明の噴火で樹林に流れ込んだ火砕流を保存しただけではありません。この災害を乗り越えてきた人々の歴史や暮らしのありようをも表していると、捉えたいと思います。現在行われている樹型の調査では、新たな科学的知見が得られることと思えます。その成果を踏まえた今後の活用には、文化財、ジオパーク、日本遺産、観光といった行政の枠組みを超えた取り組みや、関係する自治体と連携した広域的な視点も欠かせません。この地域には、世界有数の火山国で暮らしてきた人々の知恵が凝縮されています。地域の子供たちだけでなく、全ての人たちに必ず伝えたい物語があります。



あさまびと

Vol.15

2020
冬号

特集「浅間山北麓ジオパーク」一期4年を支えた人々



▲ジオパーク運営会議にて。前列右から5番目より萩原副会長、順に熊川会長、嬬恋郷土資料館 関館長、環境省上信越高原国立公園管理事務所 岸保護管理企画官



ジオ活動報告



▲事務局のプレゼンテーション風景。JGC島原半島ジオパーク大野調査員もオンライン参加で調査下さいました。

10/26~28に行われましたジオパーク再認定審査の様相をお届けします

▼北軽井沢エリアにて



▲鬼押し出し園にて



▲ハッ場あがつま湖へ



▲鎌原観音堂奉仕会の皆様による拠点説明の様子



▲特別天然記念物の熔岩樹型

発行元：浅間山ジオパーク推進協議会

Mt. Asama Geopark Promotion Council
〒377-1524 群馬県吾妻郡嬬恋村大字鎌原494-45
TEL/FAX：0279-82-5566
URL：www.mtasama.com
E-mail：geo-asama@ebony.plala.or.jp
Facebook：www.facebook.com/asamageopark
制作担当：広報・観光委員会

ガイドの受付しています

「浅間山北麓ジオパークガイドの会」の認定ガイドによる案内の受付をしております。ご希望の方は、左記、推進協議会事務局までお申し込みください。
[料金表：ジオガイド1人あたり]
半日¥5,000~8,000 ジオガイド1人につき
1日¥10,000~16,000 15名位までガイド可

編集後記

今回は、ジオパークを支える「人」をテーマにお届けしました。浅間山北麓の自然維持には、多くの人が関わっていることを知っていただけたら幸いです。



▲10/26~28の3日間、日本ジオパーク委員会の現地調査員による再認定審査現地調査が行われました。(写真は調査時のもの)

右から、長野原町役場企画政策課 中村課長、萩原副会長、日本ジオパークネットワーク 齋藤事務局長、静岡大学鈴木准教授、熊川会長、黒岩運営委員長 宮崎事務局長

ジオパーク、新たな段階へ
浅間山北麓ジオパークは認定を受けて四年が経過しました。
ジオパークは認定を受けて終わりではなく、四年ごとに厳格な審査を受け、適否判定のみならず、しっかり課題を定めて新たな活動を続けていくこととなります。
審査は十月に三日間にわたっておこなわれました。浅間山の火山と大地の活動、そこに棲息する動植物や人々の暮らし・歴史などを学び楽しみ、後世に伝え、残していくジオパーク活動はたくさんの人々によって支えられてきました。
節目に当たり、今号は活動に携わっている人々を取り上げてみました。

ジオパーク活動を担う、あさまびと達に聞いてみました

質問：①過去4年間の主な活動は？②今後に向けて取り組みたいことは？③ジオ活動に対する思い



調査・保全委員会

浅間山北麓の自然保護、保全調査を行い次世代へ伝える活動をしています。



教育・防災委員会

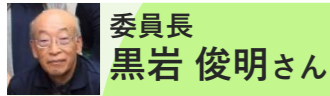
学校や地域への教育普及活動を定期的に行っています。



▲登山道の杭入れ作業

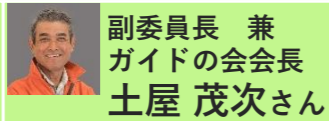


▲人気の「ジオカフェ」は地域の事を気軽に学べます。ぜひご参加ください。



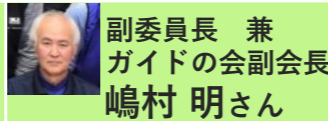
委員長
黒岩 俊明さん

- ①調査・保全委員会のメンバーとして活動
- ②保全に関する組織的な体制づくり、ジオサイトの区分と地質的な価値のまとめ、ジオサイト基礎資料の改訂
- ③私の生きる豊かさへの実感は、故郷の自然のおかげです。地域の素晴らしさを子どもたちにも伝えたい。



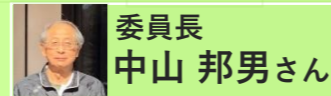
副委員長 兼
ガイドの会会長
土屋 茂次さん

- ①・浅間山を中心とした見どころの案内・熔岩樹型の保護保全活動・ぐんま県境トレイル管理、保全活動・湯ノ丸山の高山植物の保護活動
- ②自分たちの故郷にはこんないい所が沢山有ると実感してもらう為に地元向けのツアーを数多く取り組みたい。
- ③地元には素晴らしい自然と景観が沢山あります。それを知らせ利用し元気になる、それがジオパーク。皆さん、案内しますよ。



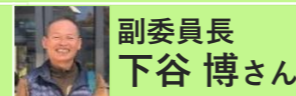
副委員長 兼
ガイドの会副会長
嶋村 明さん

- ①・この地域の宝物を探し、その素晴らしさを伝える方法をずっと考えてきたこと・分かりやすいガイドテキスト作り・地域の人や観光客へのガイド活動
- ②ふるさとの自然や歴史をもっともっと勉強し、活動を通して多くの人に知って頂きたい。
- ③自分の生まれたふる里を知ることや紹介することは楽しい。ジオパーク活動はふる里づくりだと思います。



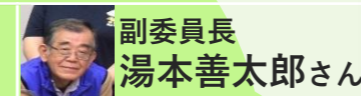
委員長
中山 邦男さん

- ①・教育普及活動（学校等への働きかけ、学習会（研修会）の開催・参加など）・防災関係の取組への参加・協力など（安全点検、研修への参加など）・教育・防災に関わる計画づくりへの参画等
- ②・今までの取組の継続・充実・発展（継続こそ力なり！）・学習プログラムづくり等への参画
- ③ジオパークの活動は、持続可能な地域社会を目指して、村や町の多くの人を元気にすることができると感じています。



副委員長
下谷 博さん

- ①星空案内、ジオカフェ、トレッキングガイドなど
- ②振り返ってみると、ジオの認定のときから、メンバーが同じですよね？これってどうなんでしょう？これからのメンバーでこれからのジオパーク活動を進めるように取り組む。
- ③ジオにお金をかけていただいた。自分に出来ることで、そのリターンは返す。



副委員長
湯本善太郎さん

- ①・ジオカフェ、地域学習への参加、協力・教育懇談会への出席
- ②見て、聞いて、触れて、多くの人が浅間山麓の自然を感じ、楽しむことができるような機会をより充実させる。
- ③地域を、浅間山を愛する人々が、それぞれの思いや有する力を発揮できる場として、永く続いてほしい。



▲マスコットキャラクターの「あさまん」



▲浅間牧場でのガイド研修。ご家族でも楽しめるエリアでとても人気があります。



▲オリジナル「エコバック」は、地域交流センターで購入可



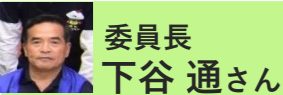
広報・観光委員会

ジオマップやポスター、季刊誌の発行やグッズの作成等を行っています。



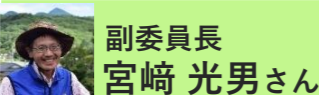
ガイドの会

見どころをガイドしています。ガイド養成にも取り組んでいます。



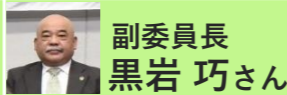
委員長
下谷 通さん

- ①季刊誌あさまびと15回発行、ジオガイドマップ作成、ジオグッズの企画等
- ②町村内にある各種団体や住民向けの企画を増やしてふるさとの魅力をたくさんの人に知ってもらえるようにしたい。
- ③子供たちが将来どこへ行っても住んでも自慢できる故郷の素晴らしさを伝えたい。



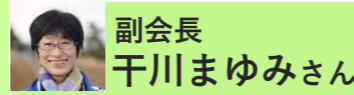
副委員長
宮崎 光男さん

- ①季刊誌あさまびと編集、教育防災やガイド部会等と協力し合っの教育活動に携わる。
- ②あさまびとを手にとってみたいようにしていきたい。又色々な機関と手を携えてジオパークをみんなのものにしていきたい。
- ③浅間山の美しい自然や文化をみなさんと一緒に考え、浅間山を学び、楽しみ、次代に伝えられたらと思います。



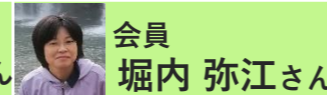
副委員長
黒岩 巧さん

- ①全国大会参加（伊豆半島、男鹿半島、大瀧）、関東大会参加（下仁田）、長野原町議会にて視察（磐梯山、洞爺湖有珠山、伊豆半島、箱根、銚子）
- ②長野原と嬭恋の議員でジオパーク推進議員連盟を立ち上げ、将来的には長野県側の4市町の議員とも連携したい。
- ③会議等には出席できないことも多いが、浅間山北麓ジオパークのために、自分のできる事をしっかりやっていきたい。



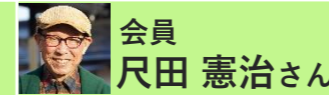
副会長
干川まゆみさん

- ①教育防災委員会、ジオカフェ、星空等のガイド
- ②ジオパークを通して、この地域の環境（自然、文化、歴史等）丸ごと自分でも学びつつ次世代へ伝えていきたい。
- ③皆さんにご迷惑が掛からない程度にゆる〜く楽し〜くかかわっていただけたいと思います。



会員
堀内 弥江さん

- ①3年前にガイド講習を受講。昨年は浅間牧場が主なガイドフィールド。今年はフィールドを増やすべく研修に参加、自主勉中。
- ②ハッ場ダムガイドが出来るようになること。長野原町民の方のガイド参加率が低いので仲間を増やしていくこと。
- ③ガイド講習を受けて改めて地元の魅力を知り、生涯続けていける素晴らしい趣味を見つけられたと思っている。地元宣伝隊員を大募集中！



会員
尺田 憲治さん

- ①2018年11月クラブツーリズムの吾妻渓谷でガイドデビュー。その後、浅間山溶岩樹型保護員となり保護活動に参加する。
- ②今年の春運用を開始したハッ場ダムと吾妻渓谷とのコラボレーションガイドに取り組み、浅間山北麓ジオパークの目玉の一つにしたい。
- ③今年77歳になりましたが、さらに努力して浅間山北麓ジオパークのガイドとして地域の発展に貢献していきたい。



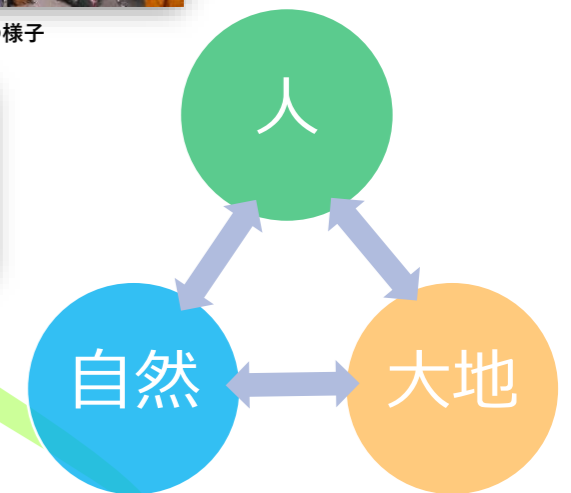
▲ガイド養成講座の様子



▲ガイドマップとしても役立つ「ジオマップ」



▲嬭恋会館で行われたジオパークフォーラムの風景



事務局

浅間山北麓ジオパークの運営・企画・管理を行っています。



事務局長
宮崎 貴さん

浅間山北麓ジオパークをより多くの方々に知っていただき喜んで活用していただけるよう、日々努めてまいります。



▲事務局長、専門員1名、事務局員4名の計6名体制で業務を行っています。お気軽にお立ち寄りください！

